

事業実績書

団体名	白石地区地域づくり協議会
-----	--------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなで作る住みよいまち・白石

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	地区住民同士の話し合いの機会を設け、地域づくりに関わる地区住民の増加を図る。とりわけ、将来を担う子育て世代等若い人(現役世代)の参加を促進する。		
	事業名	地域づくり活動参加促進	決算額	285,920円
②	視点	地区住民同士やSL乗客等其他地区住民との交流促進を図るため「SLやまぐち号」の停車駅であるJR山口駅において「やまぐちえき」応援おもてなしイベントを開催する。		
	事業名	「やまぐちえき」応援イベント	決算額	298,254円
③	視点	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで参加していただき、地域の伝統文化に触れる事により、郷土愛を育み、以って地域住民の連帯感や絆を深める。		
	事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	344,017円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
<p>①新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の中での活動となったが、専門部会や実行委員会を開催し、地区住民同士の話し合いの機会を設け、地域づくりに関わる地区住民の増加を図った。</p> <p>子ども会育成会や白石小中PTAの子育て世代等現役世代が参加し、連携が図れた。</p> <p>今後も地域づくり活動への参加意識の喚起・触発等啓発活動を推進し、地域づくりに関わる地区住民の増加を図っていく。また、商店街、市民活動団体等との連携を強化、子育て世代等現役世代の参加を促進しながら、地域活動を行っていく。</p>	△
<p>②今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の中での活動となったが、山口駅構内待合室において「白石ご当地自慢写真展」、観光ボランティア「てくてくウォーキング」を実施した。</p> <p>更に、山口駅ロータリーの緑地にイルミネーションの飾り付けをした。</p> <p>また感染防止対策を徹底したうえで、SLやまぐちクリスマス号のおもてなし活動を行った。</p> <p>今後も継続して、おもてなしイベントの実施や「白石ご当地自慢写真展」の開催、駅カフェの開設、イルミネーションを利用したイベントについては地域・山口駅・その他の方々の話し合いを重ねてより充実させていき、白石地区および近隣地域の魅力を発信する本事業を深化させ、地域内はもとより他地域交流の礎としたい。</p> <p>なお、イベント開催時における「駅カフェ」の運営を充実し、地区住民同士や他地区住民交流の場として積極的に活用する。</p>	○
<p>③【ほたるまつり】</p> <p>実行委員会メンバー他有志で、赤煉瓦広場においてコロナ対策をしながら、無料休憩所の設営・運営及び交通警備を行った。総勢54名の参加があった。</p> <p>【祇園祭】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中止となった。</p> <p>【山口七夕ちょうちんまつり】</p> <p>コロナ禍の中、8月6日に子ども会育成会が、親子でミニちょうちんツリーに願事短冊の飾り付けを行った。一の坂川西京橋から千歳橋までの両岸においてミニちょうちんツリーを設置(飾り付け・点灯)した。総勢356名の参加があった。また検温・消毒を参加者・スタッフ全員が行い感染防止を徹底したことから、新規感染者の発生もなく無事に終了した。事前会議を行い、流れを確認したことから、当日準備、お祭り、片付けがスムーズに行われた。</p> <p>今後については、より多くの地域住民(とりわけ子育て世代と子どもたち)が参加してもらえるような、より楽しい企画を検討し、実施する。</p>	△

4 総括

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から止む無く、地域課題解決の手段としての事業を中止または縮小せざるを得なかった。

今後については第3次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって遂行し(D)、事業結果(効果)を検証し(C)、改善する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	5, 353, 025円
事務局の 運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務職員:3名</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費</p> <p>(成果・評価) R4年度、新会計管理システムの運用により、適正な資金管理(財務会計業務)ができた。</p> <p>(今後に向けて) ムダ・ムリ・ムラを無くし、効率の上がる適切かつ円滑な事務運営に努める。</p>

(2) 地域振興

事業名	地域づくり活動参加促進
事業費	285, 920円
事業概要	<p>(実施内容) 地域課題の解決に向けて、専門部会、実行委員会等運営態勢を構築する。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 111人</p> <p>(成果) 各専門部会等の運営に関わる人たちの参加意識の向上が図れた。</p> <p>(評価) 今年度における専門部会の出席率が89%となり、昨年(88%)と比較して1%増加した。また、参加人数が111名となり、昨年と比較して6名(5.2%)減少した。</p> <p>(今後に向けて) 地域の将来像や地域課題解決のために実施する事業の情報を地域住民同士が共有し、地域活動が積極的に展開されるよう、地域づくり活動に参加する地域住民、とりわけ地縁者の増加促進を図る。 また、地域づくりに関わる啓発研修会や自由な意見交換会等を開催するなど啓発活動に取り組む。</p>

事業名	広報事業
事業費	1, 244, 650円
事業概要	<p>(実施内容) 広報誌配布、公式ウェブサイト運営、フェイスブック・インスタグラム投稿</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 5人</p> <p>(成果) 広報誌全戸配布12回、ウェブサイト更新12回、フェイスブック投稿85回、インスタグラム28回</p> <p>(評価) 広報誌を毎月発行、HPを適宜更新、フェイスブック・インスタグラムを活用するなど、各事業の開催案内・結果報告等掲載し、活動状況の周知が図れた。</p> <p>(今後に向けて) 次年度も、引き続き広報誌の毎月全戸配布、ホームページを適宜更新し、情報発信チャンネルを強化する。とりわけ、フェイスブック・インスタグラムについては情報提供回数を増やし内容を充実させ、とりわけ現役世代の若い人たちへ地域づくり活動状況をタイムリーに発信する。 また、若い世代を中心とした広報委員会の創設を目指す。</p>

事業名	「やまぐちえき」応援イベント
事業費	298, 254円
事業概要	<p>(実施内容) JR山口駅の環境美化活動、市内観光ウォーキング、JR山口駅構内待合室において写真展、SLクリスマス号のおもてなしやJR山口駅前ロータリーにイルミネーションの飾り付けをした。</p> <p>(実施時期) 令和4年5月、6月、8月、10月、11月、12月、令和5年3月</p> <p>(参加人数) 16人(実行委員会メンバー)</p> <p>(成果)JR山口駅構内待合室で写真展を開催、「クリスマスは山口から」をテーマに駅ロータリーにイルミネーションを飾り付け、利用者や近隣住民の皆さんへ白石地域の魅力を発信した。実行委員や参加者が増加し、本事業は拡大している。</p> <p>(評価)山口駅構内待合室における「白石ご当地自慢写真展」では主に山口駅利用客等他地区住民の皆さんへ「ちょうちん祭り」、「山口祇園祭」等伝統文化や明治維新に関わる名所旧所など白石地区および近隣地域の魅力を発信することができた。 観光ボランティア「てくてくウォーキング」では白石歴史探訪の会とコラボ開催し、参加者と交流を深めることができた。</p> <p>(今後に向けて) 今後も継続して、おもてなしイベントの実施や「白石ご当地自慢写真展」の開催、駅カフェの開設、JR山口駅前ロータリーにおいてクリスマスイルミネーションの飾付を実施する。 また、6・10月の観光ボランティアについては、来年度も白石歴史探訪の会とコラボして実施したい。 白石地区および近隣地域の魅力を発信する本事業を深化させ、地域内はもとより他地域交流の礎としたい。</p>

事業名	白石フェスティバル開催支援(プロジェクト事業)
事業費	—
事業概要	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から縮小開催となった。

事業名	白石地区町内親睦大運動会開催支援(プロジェクト事業)
事業費	—
事業概要	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から中止となった。

事業名	町内会親睦活動支援
事業費	60, 000円
事業概要	<p>(実施内容) 今市自治会福部童子祭 ・ 荒高もりさま祭り</p> <p>(実施時期) 令和4年8月25日・26日 令和4年9月3日</p> <p>(参加人数) 延380人</p> <p>(成果)【福部童子祭】幼児を含む子供達と地域住民とのコミュニケーションがとれた。 【もりさま祭り】自治会内、周辺住民の方々の多くの参加をいただいた。</p> <p>(評価)【福部童子祭】地域の子供達と地域の大人との交流の場として役立った。 【もりさま祭り】白石地区スポーツ協会・山口県立大学ボランティアの学生・白石地区消防団のご協力をいただいた。</p> <p>(今後に向けて) 今後については高齢化、世帯の減少等で継続が難しくなりつつあり、隣接した自治会で共催を働きかけ、交流の場としたい。開催についても役員の負担にならないよう工夫し継続したい。</p>

事業名	ふるさとまつり参加促進事業
事業費	344,017円
事業概要	<p>(実施内容) 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、【祇園祭】は中止となった。【ほたるまつり】は無料休憩所の設置・間隔・コロナ対策をしながら実施した。【ちょうちんまつり】はステージは設置せずに、広場では白石カフェのみを行った。8月6日に子ども会育成会を中心に、ミニちょうちんツリー点灯・願い事短冊の飾付を実施した。</p> <p>(実施時期) 令和4年5月28日・令和4年8月6日・7日</p> <p>(参加人数) 452人(スタッフ延人数)</p> <p>(成果) 【ほたるまつり】参加者54人 【山口七夕ちょうちんまつり】参加者356人 両祭とも白石小学校・白石中学校のPTA関係者の多くの協力を得た。またコロナ対策のため参加者・スタッフ全員が検温・消毒をするなど、感染防止を徹底したことから、新規感染者の発生もなく、無事に終了した。</p> <p>(評価) 事前に会議を行い、最終確認をしたことから、事前準備、お祭り、片付けまで円滑に実施できた。</p> <p>(今後に向けて) 伝統文化活動を通じて、子どもからお年寄りまでの三世代間の交流を促進する。とりわけ、自治会連合会を通じて、各単位自治会から最低1名程度の参加を実現したい。</p>

(3) 地域福祉

事業名	チャレンジ健康づくり
事業費	94,165円
事業概要	<p>(実施内容) コロナ禍の中、ACPを中心に計画10回中、7回実施した。各回前半は、子ども中心のACP・後半は、その保護者を含めてNスポーツ(クッブ)を行った。従来型講座形式での活動としてインターバル速歩をメインに活動し、全てのカリキュラムを延期・中止することなく、全7回を開催した。</p> <p>(実施時期) 令和4年9月、10月、11月、12月、令和5年1月、2月</p> <p>(参加人数) 37人</p> <p>(成果) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、全て全日程を終えることができた。今年度は、ACPとクッブを取り入れて白石地区スポーツ協会と共に独自で行った。また通常講座を全7回開催、延べ143人参加され新規参加者が徐々に増えた。インターバル速歩を取り入れた事で健康効果があり、充実した活動であった。</p> <p>(評価) コロナ禍の中、毎回広報誌で開催予告や報告を掲載したことで、後半に入り新規参加者が徐々に増えた。最後のグループワークにおいて健康効果があったとの声を多数頂戴する事ができ、充実した活動ができた。</p> <p>(今後に向けて) より多くの方に参加いただくため、withコロナ時代に適合した活動として再生したい。そのため、活動の原点に戻り、内容や運営方法等を見直していく。</p>

事業名	健康食のおススメ
事業費	52,921円
事業概要	<p>(実施内容) 食事バランス等習得とする事を目的とした男性料理教室開催と生涯骨太クッキングをカルシウム摂取をテーマに料理教室を行った。食育の日に交流センターロビーにおいて、健康食のフードモデルを展示し、来所者にレシピを配布した。減塩食レシピ・カルシウムが摂取できるレシピを広報誌へ2回掲載した。</p> <p>(実施時期) 令和4年5月、9月、10月、令和5年1月、2月</p> <p>(参加人数) 23人</p> <p>(成果) 今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を順守したうえ、3年振りに料理教室を行った。男性を対象に料理教室開催、食事バランス等を目的とし、「食事を作る楽しさ」を感じてもらい、参加者にも喜ばれた。生涯骨太クッキングでは、カルシウムを効率的に摂るミニ講座と調理で実感した次回の希望者もいた。</p> <p>(評価) 食育の日におけるサンプルの展示、広報誌へのレシピ掲載、講座開催により、適正な塩分量の料理や美味しくカルシウムを摂取できる料理の提案を行い、食育の大切さや食の関心を高める活動になった。</p> <p>(今後に向けて) 来年度も、減塩料理、生涯骨太を目指したクッキングを実施し、広報誌に健康食レシピを掲載紹介、健康に役立つ料理教室など幅広く行う。 また、口コミによる料理教室等の開催情報の周知に努め、参加者の増加を図る。より多くの地域住民の「食」に対する意識を高めるため、「チャレンジ健康づくり実行委員会」と協働で、料理教室の開催をする。 毎月19日は「食育の日」として、交流センターのロビーにおいて健康食のサンプル展示を継続していく。より感染予防対策しながら、食を通じた健康づくりを地域の皆様に伝えていきたい。</p>

事業名	グラウンドゴルフ参加促進
事業費	67,178円
事業概要	<p>(実施内容) グラウンドゴルフ大会を開催。</p> <p>(実施時期) 令和4年6月、10月、11月</p> <p>(参加人数) 51人(実行委員会メンバー28人)</p> <p>(成果) 今年度は、春季、秋季、地域づくり協議会会長杯の3大会を開催した。準備、運営はグラウンドゴルフ実行委員会が中心となって実施した。</p> <p>(評価) 今年度は実行委員会の会員数が増加せず、新規参加者もなかった。</p> <p>(今後に向けて) 今年度参加がなかった、初心者向けの講習会、親子交流戦を来年度は内容を充実させて参加者増に繋げていきたい。今後も月例大会を月に1度実施し、交流を図っていきたい。結果報告を広報誌に掲載する。</p>

事業名	むかし遊び
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) 白石小学校と連携して、新入生(1年生)を対象として実施。</p> <p>(実施時期) 11月17日(木)</p> <p>(参加人数) 39人(実行委員会メンバー9人)</p> <p>(成果) 昨年の参加者に案内ハガキを送付、また民生・児童委員や部会員から声掛けをした。昨年同様39名の参加者があった。高齢者と1年生の楽しく充実した交流が図れた。例年通りの種目に、今年は新しく「ぽっくり」を取り入れ、計9種目で行った。</p> <p>(評価) 福祉部会員、民生児童委員、近隣住民、そして白石小学校の先生の協力があり、スムーズに運営できた。子ども達も全部の種目で楽しそうに遊ぶ様子が見られた。</p> <p>(今後に向けて) 来年度も引き続き、参加者に案内ハガキを送付、知人への紹介・参加を働きかけていただき、より多くの参加者を募る。児童のケガ等がないように、種目、人員等を再度検討する。時間調整が必要な部分は、方法を協議していく。</p>

(4)安全・安心

事業名	危険防止看板設置等
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) —</p> <p>(実施時期) —</p> <p>(参加人数) —</p> <p>(成果) 申請事案がなかった。</p> <p>(評価) —</p> <p>(今後に向けて) 子どもの交通事故等の危険箇所注意を呼び掛ける看板やステッカーなどの表示設置が不十分な箇所があるため充実させたい。</p>

事業名	反射鏡設置等事業
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) —</p> <p>(実施時期) —</p> <p>(参加人数) —</p> <p>(成果) 申請事案がなかった。</p> <p>(評価) —</p> <p>(今後に向けて) 地域内の交通安全を守るために、次年度以降も危険個所に反射鏡等の設置をしていく。</p>

事業名	自主防災活動参加促進
事業費	105,927円
事業概要	<p>(実施内容) 自主防災勉強会等開催。 山口県自主防災アドバイザー養成研修の受講により新たに認定自主防災士を養成する。</p> <p>(実施時期) 令和4年4月～令和5年3月</p> <p>(参加人数) 29名</p> <p>(成果) 今年度新たに1名が認定自主防災士となり、白石地区の認定自主防災士は29名となった。 また、市認定防災組織・認定自治会等の増加に注力し、白石地区自主防災組織の構築に向けた支援を実施した。 自主防災士による防災講座を自治連町内会(自治会)会長等を対象として実施した。 令和5年3月5日(日)に12自治会にて自主防災発災実動訓練を実施した。防災イベントでは起震車による地震体験や非常食の提供を行い、防災意識向上の一助となった。</p> <p>(評価) 認定自主防災士の増加や実行委員会を定例開催(毎月1回)するなど運営態勢が充実した。</p> <p>(今後に向けて) 単位町内会(自治会)を対象として、地区自主防災士による防災講座を開催。 市認定防災組織認定町内会(自治会)、認定自主防災士の単位町内会(自治会)における自主防災組織の認定を支援する。</p>

事業名	夏休み防災訓練キャンプ実施
事業費	61,647円
事業概要	<p>(実施内容) 給水訓練、バケツリレー、着衣水泳、昼食、救命講習、放水体験</p> <p>(実施時期) 令和4年7月30日</p> <p>(参加人数) 26人</p> <p>(成果) 今年度は基本的な感染防止対策をしっかりとった上で、例年通り日中でのデイキャンプを実施した。</p> <p>(評価) 今回の体験も含め、家庭で話をしてもらいきっかけとして、各家庭での災害への備え用にアルファ米おにぎりやLEDライト付きラジオなどを持ち帰ることにより、子ども達のみならず各家庭での防災意識の向上に事業効果を上げる事が出来た。</p> <p>(今後に向けて) 今年度も参加対象を4年生まで広げたものの、目標まで及ばなかったが、近隣の事業やコロナの感染リスクもある中でやむを得ない状況だった。 来年度もコロナの感染状況を注視し学校と協議の上、引き続き事業を進めていく。</p>

事業名	安全パトロール事業
事業費	29,921円
事業概要	<p>(実施内容) 児童の登下校の安全見守り、挨拶運動 ボランティアへの児童の下校時刻予定表や情報、連絡網等の送付。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 41人</p> <p>(成果) 児童の通学時における安全確保を目的に学校とボランティアの連携が図られた。</p> <p>(評価) パトロール要員が昨年と同数となった。登録ボランティアの協力のおかげで児童の事件事故の被害事案はなかった。</p> <p>(今後に向けて) より安心・安全な町づくりのために、地域の広報誌等を通じて、登録ボランティアの増員を図っていき、参加人員の確保・拡大をしていきたい。</p>

(5)環境づくり

事業名	環境美化・保全活動推進
事業費	40,095円
事業概要	<p>(実施内容) 五十鈴川における草刈等清掃活動による環境美化・保全活動</p> <p>(実施時期) 令和4年8月28日・12月21日・令和5年3月23日(全日中止)</p> <p>(参加人数) 0名</p> <p>(成果) 本事業の参加意識の高揚は図ることができた。</p> <p>(評価) 年初計画では8/28に実施予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中止になった。その後、附属小中学校200名で田村邸上流の草刈りを12月21日、3月23日に予定したが、雨のため作業を中止した。</p> <p>(今後に向けて) 今後中学生が雨天の場合、河川での作業が出来ないことから、日程の変更等をPTA・学校と協議を重ねる。また近隣自治会からの参加者が近年減少しているため、実行委員会の拡充を図る。</p>

(6) 地域個性創出

事業名	白石歴史探訪の会
事業費	316, 023円
事業概要	<p>(実施内容) 講演会、広報誌およびHPにコラム掲載。講師(ガイド)による史跡巡りを実施。</p> <p>(実施時期) 令和4年6月～令和5年2月</p> <p>(参加人数) 講演会211人、史跡巡りウォーク43人(延べ人数)</p> <p>(成果) 今年度もコロナ対策を実施しながら計画通り実施した。講演会の日程変更・追加があったが、すべて計画通り実施できた。講演会・広報誌へのコラム掲載・史跡巡りにより幕末・明治維新の山口市で行動・活躍した人物や史跡を詳しく周知することができた。新企画の「クイズ大会」は参加者80名、全問正解者41名(延べ人数)、表彰者14名で大変好評だった。「やまぐちえき応援イベント」協力は、参加者49名となった。</p> <p>(評価) 講演会・広報誌へのコラム掲載は好評であった。今年度は歴史民俗資料館文化財専門員と小郡文化資料館文化財専門員を講師に招いて講演会を開催し、山口のお祭りや歴史に触れることができた。講演会は7回、史跡巡りバスツアー・ウォークは2回開催し講師によるガイドの下、より深く知ることができた。</p> <p>(今後に向けて) 講師の方の専門分野について親しみ易い講演会・史跡巡りを計画し、参加者の増員を目指す。</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。